

A - 24 次の記述は、図に示す構成による SSB (J3E) 送信機の空中線電力の測定方法について述べたものである。□ 内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。なお、同じ記号の □ 内には同じ字句が入るものとする。

- (1) SSB 送信機を通常の動作状態にし、低周波発振器の出力は最小にしておく。
- (2) 低周波発振器の発振周波数を 1,500 [Hz] に設定後、SSB 送信機への変調入力を順次増加させ、SSB 送信機から擬似負荷 (減衰器) に供給される □ A を高周波電力計から求める。
- (3) この操作を SSB 送信機の出力電力が最大になるまで繰り返し行い、変調入力対出力電力のグラフを作り、そのグラフから □ B を読みとる。このときの □ B の値が SSB 送信機から出力される J3E 電波の □ C と規定されている。

- | | | |
|---------|------|------|
| A | B | C |
| 1 搬送波電力 | 飽和電力 | 平均電力 |
| 2 平均電力 | 飽和電力 | 尖頭電力 |
| 3 平均電力 | 尖頭電力 | 飽和電力 |
| 4 搬送波電力 | 平均電力 | 尖頭電力 |

